

研究力向上WS開催報告

■日時: 2009年7月某日 13-17時 ■参加者: 豊橋技術科学大学B4、M1、M2の38名
 ■内容: 研究室生活を一年間過ごした院生を対象とし、自分の研究と全く異なる課題について議論し発表プロセスを通し、そこから研究推進に大切なマインドやスキルを身につけることを目的とした。 実際、99%の参加者が「ためになった!」と回答



「このワークショップは役にたった」99%



グループワーク
がんばり中!

グループワーク内容:

班ごとに課題を1つ与えられ、それについて「どのようなアプローチ方法で研究を進めるか?」をチームで議論し発表しあう。課題は「自動車の振動を抑えるためにはどうしたらいいか?その要因と対応策を考えよ」「暴力的なTV番組は、子供に悪影響をあたえるか?その検証方法を計画せよ」

① 講義

一般社会において優れた仕事をなすために、今こそ研究に精進するのだ!! そう、まさに「研究はツール」なのだ!!!
 その他、大学教員に聞いた「**研究を一生懸命やることで身につく力**」アンケート結果の紹介など

② 班分け

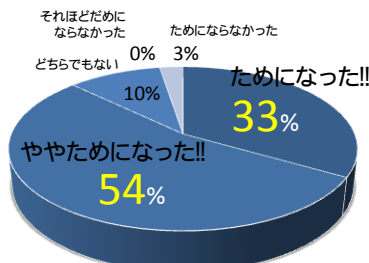
5,6名ずつの全7班に分け、課題テーマを班ごとに選択

③ グループワーク!!

課題テーマの発表は、「論理ツリー」形式。論理的思考力、客観性を鍛える。

④ 中間報告会

1班が代表発表し、それに対してコメントしあう。



本ワークショップの感想は?

前半終了



発表の様子



代表者が発表を説明

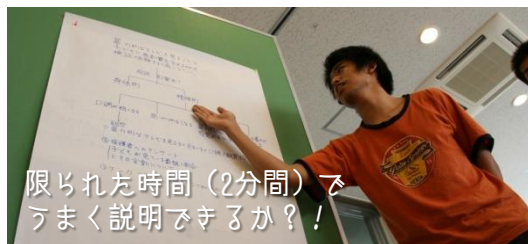
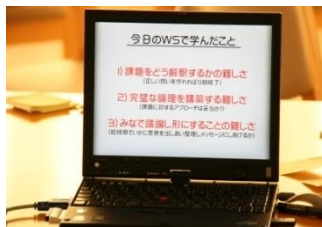
グループ
ワーク!!
その2

最終発表会
班ごとに発表
し、評価シートで
点数をつけあう

最終講義
本ワークショップで習
得したことと、実
際の研究との関
連性、論文の書
き方、プレゼンの仕
方に加え研究マイ
トドを講義



厳しい質問がとびかッ



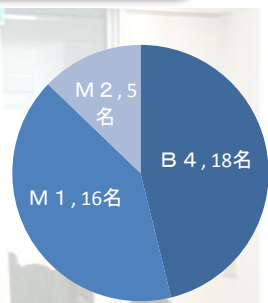
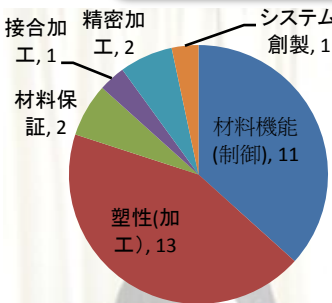
限られた時間(2分間)で
うまく説明できるか?!



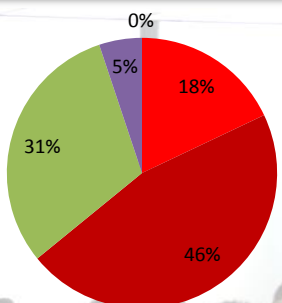
論理に矛盾はないか?
問題に正しく応えているか?

「研究することが今後の人生に重要だ!」アンケートより抜粋

参加者の研究分野と学年



今回、研究に対するやる気が、



- とても出てきた
- やや出てきた
- どちらでもない
- やや失せた
- 失せた

このWSを一言で言うと?

- 自分に足りない能力の気付き
- 自分の研究の目的意識の確認
- 研究のすすめ方を学ぶもの。
- 研究の悩みをやわらげる
- チームで問題解決
- 問題解決能力向上のため
- 考える力、チームワーク

このワークショップは今後研究に活かせるうだ。なぜなら「 」だからだ。

- 社会科学的な見方を考える・文理問わず、論理的な見方、プレゼンを学べる
- 修論を書くまでにどのような研究を進めたらいいかの手伝いになる
- 研究計画の重要性が分かった
- 研究とは何かのたいわかる
- 様々な人と討論できる珍しい機会
- 研究をする上での考え方を学べる
- 考えるプロセスを学べるから
- 研究日程を決める大きな指標をつくることのできる
- 研究する上で、チームでの取り組みを意識できた
- 研究計画を立てる方法のヒントを得ることのできるから
- 研究目的を見出すこと、テーマ探し。決めることの難しさが分かるから
- 研究室で先生が教えてくれない基本的なことを教えてくれる
- 研究のおもしろさ、難しさ、あり方を考えさせるワークショップ
- 研究することが今後の人生に重要だから